

2025年度Uネット団体紹介

上田真田平塚らいてうの会

真田町あずまや高原に、2006年5月オープンした「らいてうの家」は来年2026年20周年を迎えます。

ここは女性の地位向上のために力を尽くして生きた明治生まれの女性「平塚らいてう」を記念して、全国の人々からの寄付によって建てられた「家」です。この家に「らいてう」の遺品を保存して活用しようと集まっているのが「NPO 法人平塚らいてうの会」です。現在110名ほどで活動しています。4月末から10月末まで土、日、月の3日間開館し、見学者を迎えています。東京本部からも当番として加わり丁寧な案内を心がけています。また、月1回、様々な学習会を計画し、大勢の方が参加して下さいます。1450mの高原ですので真夏も涼しく、山野草の宝庫でもあり、避暑には最適です。グループでの学習会、吟行会などにもお使い頂いています。皆様の参加お待ちしております。



上田女性史研究会

戦後の上田市の女性たちの歴史を書き留めておきたいと15年ほど前から会を持っています。昭和20年から45年ころまでの女性の動きは小崎軍司さんによってまとめられていますので、それ以降の歴史を書き留めておきたいと聞き書きをしています。会員は15人。冊子「女性史-地域と共に-1970~2022」を「令和4年度長野県地域発元気づくり支援金」の補助金をいただいて、1,000部発刊することが出来ました。ご希望の方は事務局までお申し出ください。無料です。

女性たちがいろいろな力をつけて自立していく様子がわかってきて楽しいですよ。皆さん、参加されませんか。

うすゞみの会

静かに、目立たず、しかし確実に地域を「すみよくする」活動、議会傍聴、別所線

に乗る。かつての蚕都の裏町を歩く……。印（標）をつけ……。仕付（躰）をかけ衿をただしての活動。それは決して袂を分けることはない。どこに居ても、`キラッ`と輝く。それにはひたすら自分磨き、広い視野、高い理念、めざすは「品格ある城下町の構築」に尽きる。「着物」「観光ボランティア」そして「カフェ」に「剣舞」とそれは手段に過ぎない。今日も、変わることなき信念のもと「男女共同参画」の旗印のもとうすゞみかゆく。

女と男うえだ市民の会

家庭・職場・地域で皆がともにいきいき過ごせるまちづくりを目標に、学習し行動する会です。1993年「男女平等を目指して21世紀への創造のあゆみを」との目標のもと発足しました。男女共同参画実現のため、市に提言し、協力する市民団体です。講演会、視察研修、課題毎の部会活動（子ども・福祉・まちづくり・パソコン・男女共同参画）・機関紙「ゆう・ゆう・ゆう」の年5回の発行などをおこなっています。機関誌「ゆう・ゆう・ゆう」は市内各公民館にてご覧いただけます。

生活改善グループうえだ

- ① 社会参加と女性の意識を高めよう。
- ② 生活技術を交換し、実践しよう。
- ③ 伝えていこう郷土の食文化

上記のテーマをもとに、市内各地の農村女性グループのメンバーが集い、視察研修、料理講習、手芸講習など楽しく活動しています。特に活動の柱として、市内小学校へ出向き地元産大豆を使った豆腐づくりを指導したり、一般の方向けに豆腐や米粉を使った料理教室を開催して地産地消の推進をしています。「豆腐を自分で作ってみたいな」と思っている方、一緒に活動しませんか？

上田商工会議所 女性会

女性経営者の集まりである上田商工会議所女性会は、県下で最も早く設立された上田商工会議所の活動を軸に、講演会や研修を通じて勉強し、連帯感を高め、起業のためひいては地域社会に貢献すべく活動しております。

NPO法人 子育て応援団ぱれっと

子育て家族（特にママ）を笑顔にすることを目的に活動しています。

子育て講座や、ママプロスタッフ料理教室（託児つき）親子イベント、素敵なパパになりたい人のための講座（上田市子育て家族応援事業）などを企画し、相談なども随時行っています。メンバーは20代～70代で異世代交流しながら楽しく活動しています。 連絡先 090-8329-3494（ぱれっと専用）

更生保護女性会上田支部

過ちを犯した人が立ち直るための支援、子供の健やかな成長に手助けが必要な家庭への社会施策は大切なことです。更生保護女性会は、そのような方々に、親しみやすい身近な存在で手を差し伸べ、誰もが安心して暮らせる社会を目指しています。

さらには、犯罪や非行のない明るい社会の実現のために、地域にこの精神を広める重要な役割を担っています。

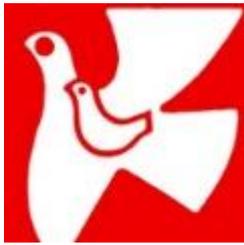
上小母親連絡会

県内の8つの地域にある母親連絡会のひとつです。各地域の母親連絡会は、各種女性団体と共に毎年交代で長野県母親大会を開催しています。母親大会は、お母さん・女性たちが集まり、教育、福祉、権利、平和などさまざまな分野のグループをつくって話し合い、学習を深める場です。“生命を生み出す母親は、生命を育てまもることをのぞみます”のスローガンのもとに全国各地で開催されています。

母親大会のはじまりー1945年、ビキニ環礁でのアメリカの水爆実験によって、マグロ漁船の久保山愛吉さんが亡くなりました。広島、長崎につぐ3度目の被爆に母親たちは怒り、平塚らいてうら6人は全世界にむけ「水爆禁止の訴え」を送り、1955年スイスのローザンヌで世界母親大会の開催が決まりました。

それに先立ち6月、第1回日本母親大会が東京で開られ、日本各地の炭鉱や農村からも、1円募金などで送りだされた2000人の母親が集まりました。世界大会には河崎なつさんを団長にあらゆる分野から代表を選び、14人が「参加しました。はばひろい母親運動の出発点です。

新日本婦人の会



1962年 いわさきちひろ、平塚らいてう、丸岡秀子らの呼びかけで結成されました。子育てや老後、健康やたべもの、環境、平和、くらし、ジェンダー平等などを願って、どんな悩みや願いもみんなの問題として話し合い、手

をつなぎ、実現をめざし運動してきました。週一回の新聞を発行し全国にネットワークを持って活動しています。2003年5月 国連に認証されたNGO 団体です。



いわさきちひろ



平塚らいてう

会の5つの目的、①核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。②憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。③生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力を合わせます。④日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。⑤世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。に沿って、さまざまなサークルで会員相互の交流を深めながら、食べて、学んで、美しくをモットーに楽しく活動しています。

2017年7月7日、国連の会議で核兵器禁止条約が採択され、2021年1月22日に発効しました。新婦人は創立以来、核兵器廃絶を求め続けてきました。引き続き「核兵器のない世界」の実現に向け運動を進めていきます。核兵器禁止条約は2025年9月26日時点、74カ国が批准、署名国は95カ国です。

スマイルマムネットUEDA

入園前の子育てをする家族が定期的集まり楽しむ子育てサークルの活動を支援する目的で作られたネットワークです。

子育てサークルと子育て支援団体、子育て支援センター（行政）が繋がりをもち、会議やイベントを通して相談、情報交換などの支援をしています。

育児サークル ビーンズ

私たちは、上田市立産婦人科病院で出産した母と子のサークルです。

母親学級での交流の中では、母乳育児に関してはもちろん、悩みや不安を話すことで楽しい育児を目指しています。

同じ場所でお産したという共通の体験で繋がる仲間は母となっても心強い存在です。

部落解放同盟上田市協議会・女性部

地球上に住む人々には、人種や民族の違い、出身や職業の違い、性の違いなど、いろいろな違いがあります。これらの違いを理由に、基本的人権である権利を奪い、政治・経済・文化等の生活全般にわたって不利益な扱いをすることが差別です。

世界人権宣言では「すべての人間は生まれながらにして自由・平等で平和に生きる権利がある」ことを明記しています。私たち女性部は、この精神を活かし、私たち一人ひとりの努力で、部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃と戦争に反対し、また、人権・環境の確立、男女平等社会の実現に向け運動しています。

上小の地域の医療を支える住民の会

上小地域の第2次中核病院である長野病院と上田市産院は、医師不足などの理由で危機的状況にありました。これを打開するため2008年（平成20）3月に上小の地域医療を支える住民の会が有志により発足しました。

長野病院、市産院の2つの署名活動やさまざまな懇談会・学習会・講演会等を行い、2009年（平成21）7月に厚生労働大臣に3万余筆の署名を直接手渡しました。

その後、上田市産院は、各関係者（支える会）などの努力が実り、長野病院と隣接に2012年（平成24）4月新築移転をして、市立の産院として日本唯一です。

長野病院は「信州上田医療センター」と名称変更し、中核病院として科の増設や医師数の回復が進んでいます。2018年（平成30）3月まで医師数62名のところ、4月から外科など6科で7名の増員し67名となり、7月から整形外科1名増で68名となります。なお市産院は産婦人科医師は新規に常勤1名増で2名となり、非常勤7名の体制になりました。住民の命と安全を守る重大なことだけに、いっそうの皆さんの意見を反映し、運動を継続していきたいと思えます。

上田市職員労働組合

上田市役所では、「女性の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」を平成28年3月に前期計画、令和2年3月に後期計画を、組合も参加しながら策定しました。計画では、女性職員の管理職への登用を「令和7年度までに、管理的地位にある職員に占める女性割合を、令和元年度の実績（8・9％）から5・4％引き上げ、14・3％以上にする。」という目標が定められました。また同時に、「すべての女性職員が活躍できる職場づくりに向けては、時間的制約のある中でも活躍できるよう、男女双方の働き方改革によるワーク・ライフ・バランスを実現することが不可欠です。」とあり、この計画の実現に向けた取組を進めています。

よりよい夜間保育を目指す会

東信地区でも数少ない夜間保育を行っている「保育所にゃんにゃん」のスタッフで会を立ち上げました。私たちは子育て支援（主に働くお母さんのサポートや子育て悩み相談等）を含めお預かりしたお子様の成長を大切に考え、栄養重視の手作り給食、しっかりとした睡眠を取れる環境、お遊戯や製作等で情緒豊かな、そして創造力あふれる子どもに育つよう充実した保育・・・と“安心の保育”を日々心がけ頑張っています。

マイヤ上田

外国籍の女性による、外国籍の女性のためのサークルで、おしゃべりをして生活に役立つ情報交換をしたり、料理教室などを行っています。

マイヤはギリシャ語で「良い母親」の意味です。「上田のくらしをハッピーに」をモットーに活動していますので、よかったら参加してみませんか。



さくら会

目的は「地域の中での仲間作り」です。コミュニケーションをとりながら、知っていることを教えあうこと。現在は、袋ものや刺し子、編み物などの手芸が主ですが、プラザゆうで様々な情報を知って教養を高めたいと思っている会です。

蚕都くらぶ・ま〜ゆ

私たちは、経済効率を最優先し、限りない競争を強いる社会ではなく、お互いに助け合い、つながりあって暮らせる地域を作ることを目指しています。

豊かな自然や各自が持っている暮らしの知恵、技術、時間、人柄は、地域にとっての財産です。それらを地域通貨“ま〜ゆ”を使って活かしあっています。毎月10日に「ま〜ゆ市」を中央公民館で、第3日曜日に「ほっこりカフェ」をみんなの家で開いています。ここでは、地域通貨を使ったモノ・コト交換や交流をしています。また、自給的暮らしを目指して米や味噌、醤油、野菜づくりを仲間と一緒に楽しんでいます。

「ま〜ゆ寺子屋」では、会員を講師に学習会や陶芸教室、手芸、コンサート、講演会などを随時開いています。10代から90代まで幅広い人が集っています。見学も自由にできます。楽しく心地よい暮らしづくり、仲間づくりと一緒に始めませんか？ま〜ゆの活動を追ったドキュメンタリー映画「もうひとつの明日へ」が2020年10月に完成しました。

蚕都くらぶ・ま〜ゆホームページ <http://mayu.lolipop.jp/santo/>

ながのトポスの会

長野トポスの会は、Nobody's Perfect プログラム（ノーバディズ パーフェクト・以後 NP と略）のファシリテーターが学びあい、支え合う会です。NP プログラム・ファシリテーターは、子育て中のお母さん、お父さんが自分らしい子育てをすることができるように応援します。『人は親として生まれてくるわけではありません。私たちは皆、周りの人に助けをもらいながら、親になっていくのです。』との理念のもとに、お母さんやお父さんが持っている力を信頼して一緒に学び、つながりを支えます。私たちは、子どもたちが安心して育っていくことができる地域と人のつながりをつくる力になりたいと思っています。ファシリテーターは、お母さんたち、お父さんたちが学び体験することをやりやすいように工夫し、場を支えます。私たちは、NP プログラムを実施することだけでなく、地域の様々な場面で、ファシリテーションの考えと方法を役立てることを大切にしたいと考えています。

麗人会

大家好（みなさん、こんにちは）！

私たちは、金曜の午後に「市民プラザ・ゆう」で、ウイグル出身の先生と一緒に中国語を勉強しています。

メンバーのほとんどが中国語は初めてですが、初めて触れる言葉や、中国の文化についてのお話に毎回ワクワクしながら学んでいます。

現在のメンバーは全員、乳幼児を育てているママたちで、子ども連れで活動しています。ママたちが四苦八苦しなから発音している横で、子どもたちは自由に遊んだりゴロゴロしたり。そんな中でも、耳から自然と中国語の音が入ってきて、きっと小さな心に何かが残っていくのでは…と感じています。

これからの時代、子どもたちは多様な文化と共に生きていくことになるはず。そんな社会に向けて、親子で中国語や異文化にふれながら、たのしく国際感覚を育んでいけたらと考えています。

武石風土つなぎ隊

上田市合併 20 周年を迎えましたが、その間、年間のイベントを通して地域の賑わいや官民協働を目指して活動してきました。これからも住民同士の結びつきを大切にし住民自治の構築へと繋げていきます。



古民家たまり家事業



第9回仮装大賞



つなぐ家ミニ花市風景

やりなおし英語の会

年齢幅ひろく、子育て中の方から、子育てはもう卒業したという人もいます。私自身がそうでしたが、息子が中学に入ったときに英語を再開しました。日常の雑事に埋もれてしまいそうで、焦りを感じていました。グループは基本からやり直し、現在は“日本昔話”を易しい英語で書かれている物を読んでいます。昔習った英語と違い文科省も今は使える英語を目標にしています。ご一緒にやってみませんか？英語の基礎があると、次の印欧語へと進んでいけます。まずは英語です。あなたが乗り越えられるのを、お待ちしております。

上田市男女共同参画コミュニケーター

2001年長野県知事から男女共同参画コミュニケーターとして、上田市で7人が任命されました。それから2年毎に任命が更新されて、今は8名で活動をしています。

男女平等の理念に基づいて、市の行政、自治会活動、諸会合の運営等に参加、助言し、共に学習を重ねています。